

令和7年度 君津市障害者基幹相談支援センター評価

議題2 資料2-3

評価項目	評価視点・内容	評価
1. 活動実績	相談件数・困難事例対応・地域移行支援の状況	年間で【2,867件】の相談に対応し、特に複雑・困難な案件において積極的に個別支援会議に参加し、関係機関との連携を強化している。また、職員の増員や電話回線の増設が相談対応能力を向上させ、相談体制の強化を実現できている。
2. 体制整備・専門性	相談員体制・研修・スーパービジョン	着実な取り組みがなされており、研修会ではグループワークを通じて参加者同士の交流や問題解決能力が高められている。しかし、年2回の相談支援事業所訪問が一部未達成であったため、計画的な実施が求められる。近隣事業所への訪問も意義深い取り組みである。
3. 地域連携	他機関との連携、協議会・会議体への参画状況	地域の課題への認識が専門部会を通じて深まっていることや、関係機関との連携が進展している点は評価できる。今後は、各部会間の横の連携をさらに強化し、一貫性を持った取り組みを実施することが求められる。地域のニーズを正確に把握することで、実効性の高い対応をしていただきたい。
4. 今後の課題・展望	対応力の強化、人材育成、業務改善、地域課題への取り組みなど	さらなる関係機関との情報共有や連携体制の強化が期待される。特に、児童や高齢者関係機関との連携についてもより強化し、基幹相談支援センターとして、地域資源の開発や支援者ネットワークの強化にも引き続き取り組んでいただきたい。
総評		
基幹相談支援センターとして安定した運営のもと、多岐にわたる相談支援活動を展開し、利用者の多様なニーズに応じた適切な対応を行っている点が高く評価される。特に、地域の関係機関との連携を強化することで、包括的かつ個別性のある支援体制を確立していることは、地域社会における福祉の向上につながっている。また、重層的支援体制の構築にあたっては、専門性の強化を図ることで質の高いサービスを提供する取り組みが見受けられる。 今後も新たな社会的課題への支援ニーズにも的確に応える体制の構築が急務であるため、柔軟で適応力の高い人材の育成を進め、多様なケースに対する支援力の向上に努めていただきたい。また、若年層を含め、市民にとって身近な相談機関であることが周知されるよう引き続き努めていただきたい。		